

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年1月13日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年1月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【第三セシウム吸着装置の計画停止時における油水分離装置(B)スラッジ排出弁の動作不良について】 当直員が、第三セシウム吸着装置の計画停止後の各弁の状態・動作確認をするため油水分離装置(B)スラッジ排出弁を開動作したところ、「油水分離装置(B)スラッジ排出弁全閉異常」警報が発報し、すぐに止まったことを確認。手動で、弁の開閉操作をしたが、当該弁が全開にならない(弁中間表示)ことを確認。 今後、原因調査、および、点検・修理予定。</p>	GⅢ	1月6日
2	<p>【淡水化装置濃縮水移送ポンプ(A)出口の圧力試験点※のフランジ部からのにじみ・滴下について】 当直員が、既設多核種除去設備水源切替のため、淡水化装置濃縮水移送ポンプ(A)を起動したところ、当該ポンプ出口の圧力試験点のフランジ部よりにじみ・水の滴下を確認。 当該ポンプを停止し、にじみ・滴下が停止したことを確認。 滴下した水は、ポンプ小屋堰内に溜まっており、ポンプ小屋外への流出はなし。 既設多核種除去設備への移送は、淡水化装置濃縮水移送ポンプ(B)にて可能なため、水処理には影響なし。 今後、原因調査、および、点検・修理予定。</p> <p>※圧力試験点:試験時に圧力計を取り付ける箇所(通常は取り外されている。)</p>	GⅢ	1月9日